

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はるgrow		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 1日		R6年 11月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	R6年 11月 5日		R6年 11月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種が在籍しており、専門性の高い多角的な支援を提供できること。	気になることや問題点を専門職に相談し、必要に応じて評価している。支援が一边倒にならないよう、新しい要素や興味あることを取り入れ、楽しい支援を心掛けている。	・定期的に研修会・勉強会・カンファレンスを開催する。 ・評価法の検討をする。
2	利用児一人ひとりの目標や対応を職員間で共有し、実施することができている。また、連携がスムーズであり、問題がおきた際の動きが明確であること。	支援開始前に複数名で支援内容を確認し、支援後には振り返りを行う(PDCAサイクル)。「報告・連絡・相談」を大切にし、職員間の風通しも良く支援ができている。	ゆとりある時間の確保。
3	学校や医療機関等、関係機関との連携が強いこと。	家庭や学校とも情報共有をこまやかに行っていること。	・定期的なニーズの確認。 ・実行可能で効果的な支援の提供を探る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	土日祝日が休みであること。	平日、個別支援で宿題以外に取り組む時間の確保。	ニーズと支援の優先度の確保。
2			
3			